

国道7号 秋田南バイパス4車線化により
通勤時間帯の渋滞解消、旅行速度向上、市街地の交通環境向上

国土交通省が事業を進めてきました、「秋田南バイパス（L＝8.5 km）」事業のうち、通勤時間帯における渋滞・速度低下が著しい区間である、秋田市新屋地区の延長L＝2.2 km区間において、平成27年5月20日以降2車線から4車線化運用を開始しております。

その結果、主要渋滞箇所である新屋跨道橋交差点の「通勤時間帯における渋滞解消、旅行速度向上、市街地の交通環境向上」の効果が見込まれましたのでお知らせします。

○秋田南バイパス4車線化拡幅の概要

- ・事業箇所：秋田市新屋^{あらやあたごまち}愛宕町～新屋三ツ小屋^{あらやみつごや}
- ・計画延長：2.2 km
- ・事業着手年度：平成20年度
- ・事業費：40億円

○4車線化による整備効果

	整備効果	備考
効果①	通勤時間帯における渋滞解消	1,150m→0mに改善
効果②	通勤時間帯における旅行速度向上	20km/h→56km/hに向上
効果③	市街地の交通環境向上	(主)寺内新屋雄和線 雄物新橋の交通量 1,775台/2h→1,514台/2h

※効果①、②は主要渋滞箇所である新屋跨道橋交差点での観測結果より。

【これまでの経緯】

※平成27年5月19日：雄物大橋渡り初め式を実施

※平成27年5月20日：2車線から4車線で運用開始（一部、工事による日中車線規制を実施）

【その他】

※これまで中央分離帯などの未完成部分の工事を行うにあたり、一時的に車線規制を行っていましたが、秋田竿燈まつり前の平成27年7月31日をもって工事が全て終了する予定です。

※4車線化拡幅工事完工に伴う式典等は行いません。

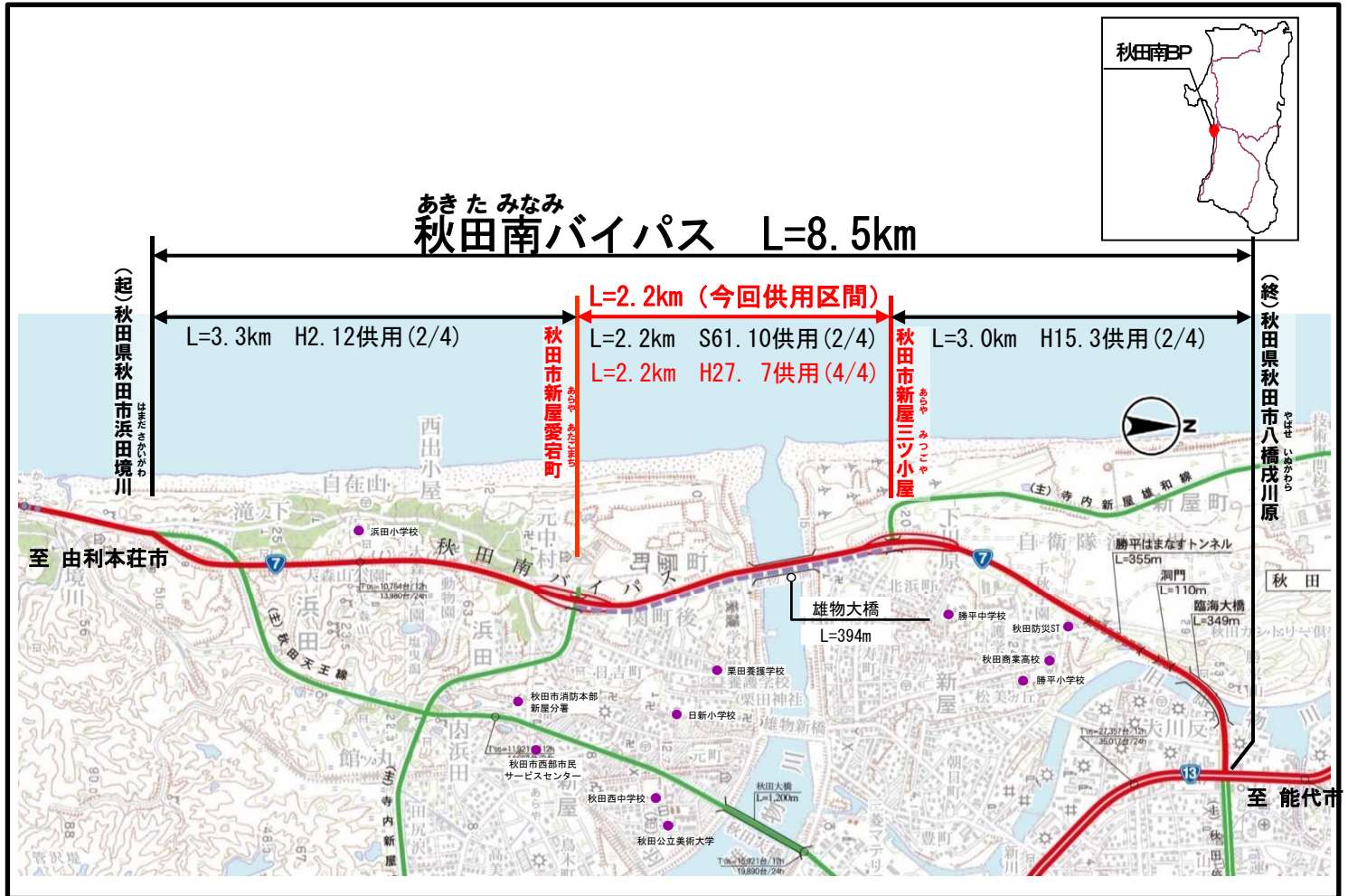
発表記者会：秋田県政記者会

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所

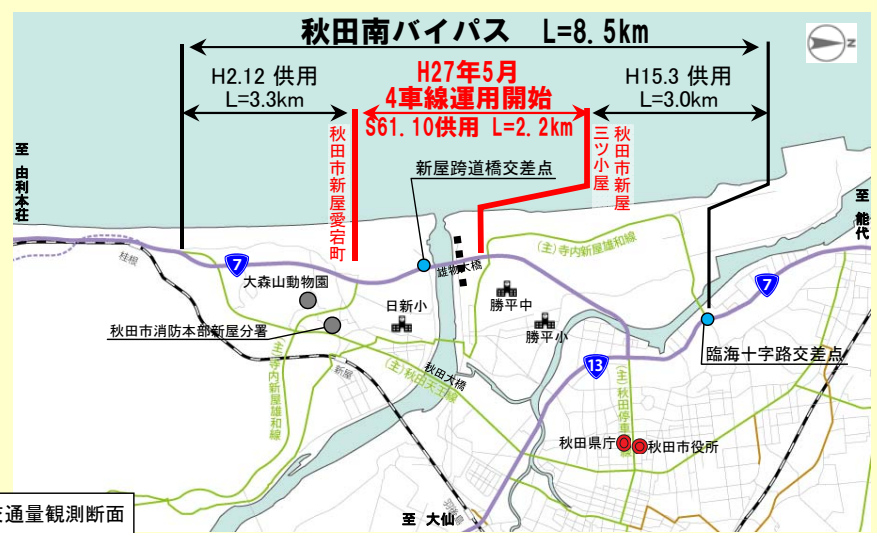
副所長（道路担当） 佐野^{さの} 智樹^{ともき}（内線205） 電話 018-823-4167(代表)

位置 図

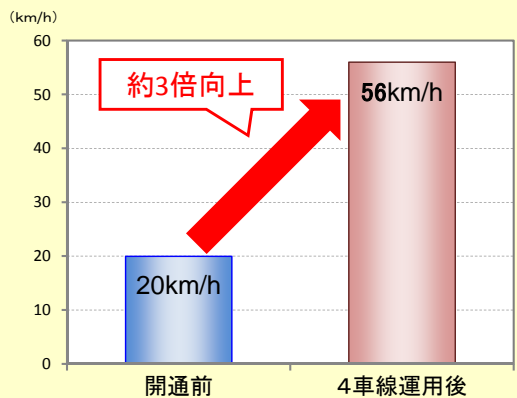


①通勤時間帯の渋滞が解消し円滑な走行が可能となり旅行速度が向上

●主要渋滞箇所(新屋跨道橋交差点)の渋滞が解消し、旅行速度は3倍向上
(20km/h→56km/h)

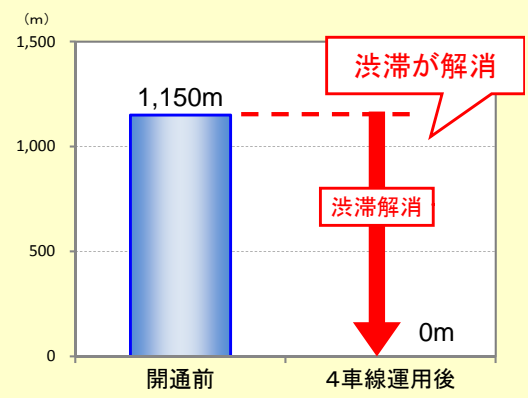


▼旅行速度の変化(4車線運用区間)
<由利本荘市方向から秋田市街方向:朝7時台>



※旅行速度観測日(プローブカー走行調査による)
開通前 : H26.9.4(木)
4車線運用後: H27.7.9(木)

▼新屋跨道橋交差点の渋滞長の変化
<由利本荘市方向から秋田市街方向:朝ピーク>

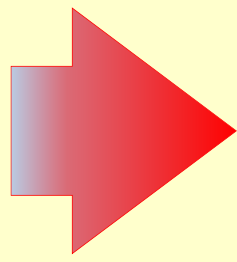


※渋滞長観測日(人手観測)
開通前: H26.9.4(木) 4車線運用後: H27.7.9(木)

【新屋跨道橋交差点付近 開通前】



(H26年9月4日8時台撮影)



【新屋跨道橋交差点付近 4車線運用後】



(H27年7月27日8時台撮影)

②生活道路の交通量が減少し市街地の交通環境が向上

●秋田南バイパスの交通量が幹線道路として約2割増加する一方、新屋地区中心を通過する(主)寺内新屋雄和線等の交通量が減少し、市街地の交通環境が向上

